







# 履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリ ボタン  を使用します。

## 履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在、発信、および着信のレコードが保持されています。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。部分的なリストを表示するには、リストを強調表示して [編集] を押します。
履歴を削除する	 を押してから [クリア] を押します。この操作により、すべてのログ内のコールレコードが削除されます。
履歴からダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none"><li> &gt; [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。</li><li>ログから、コールレコードを強調表示します。</li></ol> <p> (注) [詳細] ソフトキーが表示されたら、そのコールは、複数のコールのプライマリ エントリになります。ヒントの項を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、&lt;&lt;または&gt;&gt; を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します（必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。</li><li>オフフックにしてコールを発信します。</li></ol>

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする（別のコールに接続した状態）。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。</li> <li>2. ログから、コールレコードを強調表示します。 [詳細] ソフトキーが表示されたら、そのコールは、複数のコールのプライマリ エントリになります。ヒントの項を参照してください。</li> <li>3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、&lt;&lt;または&gt;&gt;を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します（必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。</li> <li>4. [ダイヤル] を押します。</li> <li>5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [保留]：最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。</li> <li>• [転送]：最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。</li> <li>• [会議]：自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。</li> <li>• [終了]：最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。</li> </ul> </li> </ol>



## ヒント

完了した複数のコールのレコードを表示するには [詳細] を押します。詳細レコードにより、不在着信、または着信した複数のコールに関する 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。

- 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番最初に完了したコールの名前と番号です。

## 電話機の社内ディレクトリの使用方法

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリにアクセスし、それを使用して同僚にコールを発信することができます。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [シャナイディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。</li><li>2. キーボードを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。</li><li>3. ダイヤルするには、ダイヤルするリストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。</li></ol>
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続した状態）	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [シャナイディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。</li><li>2. キーボードを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。</li><li>3. リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。</li><li>4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。<ul style="list-style-type: none"><li>• [保留]：最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。</li><li>• [転送]：最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。</li><li>• [会議]：自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。</li><li>• [終了]：最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。</li></ul></li></ol>

### ヒント

キーボードの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。